

1 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果 (令和7年9月に提出したものから引用する)

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

【今後の自校での取組】

- 【国語】 ・国語や学級会などでの話し合い活動の充実を図る。(目的や意図をもって指導する)
・継続して漢字練習に取り組む。
- 【算数】 ・分数を中心に、知識・技能の学び直しを行う。
・数学的活動を通して、図形の見方・考え方を養うような授業を仕組む。
- 【理科】 ・単元の終わり、学期の終わりに学習したことをまとめる活動を行い、学習したことをアウトプットする。
・自分たちの生活と理科での学びを結び付けて考えられるような話題を日常的に行う。
・理科の既習事項と結びつけて考えられるようなニュースを共有する。
・単元ごとに学習を終わらせず、単元同士を関連付けて考える。
- 【全体】 ・記述の問題では各教科の用語を用いて自分の考えが書けるように指導する。(無回答をなくす)

2 令和7年度三次市学力到達度検査結果分析及び指導改善計画

(1) 国語

学年	結果				【教科指導・学習に対する意識について】 教科学習及び教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題 ○これまでの取組の成果 ●課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
		自校	市	全国		
第3学年					○日々の漢字の宿題に取り組んだため、第3学年の漢字の読みはできていた。 ●言葉の特徴や使い方に関する事項 ・ローマ字の使い方が理解できていない。 ・漢字の音読みと訓読みが理解できていない。	・記号で答える問題の無回答をなくす。 ・タイピング練習や、ローマ字を日常的に書く活動に取り組む。
	知・技	77.0	82.1	81.3		
	思・判・表	76.9	71.3	73.6		
	態度					
第4学年		自校	市	全国	○日々の漢字の宿題に取り組んだため、第4学年の漢字の読みはできていた。 ○無回答をしない声掛けを日々行い、習慣化したことで、最後まで問題に取り組む姿勢がみられた。 ●第3学年に配当されている漢字を正しく書くことができなかった。 ●物語の内容を読み取れていない。 ・場面ごとの登場人物の心情の変化が叙述に基づき読み取れていない。	・下学年の漢字練習に取り組む。 ・宿題やドリルタイムで読解問題に取り組む。 ・伝記や国語の教科書の内容と関連付けたり、テーマを決めたりして読書に取り組む。
	知・技	92.1	82.3	76.9		
	思・判・表	77.3	66.9	65.6		
	態度					

第5学年		自校	市	全国	<p>○日々の漢字の宿題に取り組んだため、漢字の読み書きができていた。</p> <p>○無回答をしない声掛けを日々行い、習慣化したことで、文章が書けていた。</p> <p>●言語文化に関する事項</p> <p>・漢字の成り立ちについて理解が不十分だった。</p> <p>●叙述を基に説明文の内容を読み取れていない。</p>	<p>・低学年のうちから、新出漢字の学習の時に、成り立ちについても指導する。</p> <p>・継続して、言語事項や物語文、説明文の練習問題にドリルタイムや宿題で取り組む。</p>
	知・技	82.2	78.3	73.4		
	思・判・表	77.3	72.4	65.3		
	態度					
第6学年		自校	市	全国	<p>○日々の漢字の宿題に取り組んだため、第6学年の漢字の読みはできていた。</p> <p>●言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>・敬語の使い方が理解できていない。</p> <p>●第5学年に配当されている漢字を正しく書くことができなかった。</p>	<p>・言語事項について、ドリルタイムや宿題で取り組む。</p> <p>・下学年の漢字練習に取り組む。</p>
	知・技	76.0	71.3	68.5		
	思・判・表	83.3	75.6	72.8		
	態度					
全体					<p>○該当学年の漢字の読みはよくできていた。</p> <p>●下学年の漢字の書きには課題がある。</p> <p>●長文読解に課題がある。</p> <p>●言語事項に課題がある。</p>	<p>・普段から既習の漢字を使って文章を書かせる。</p> <p>・物語文、説明文の練習問題にドリルタイムや宿題で取り組む。</p> <p>・言語事項について、ドリルタイムや宿題で取り組む。日常的に使わせる。</p>

(2) 社会

学年	結果				【教科指導・学習に対する意識について】 教科学習及び教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題 ○これまでの取組の成果 ●課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
第3学年		自校	市	全国	<p>○地図記号の理解をもとに、学校の周りの建物について判断できている。</p> <p>○店で働く人の仕事についてよく理解している。</p> <p>○農家の仕事の流れについて理解している。</p> <p>●市の土地利用について、資料から正しく読み取れていない。</p> <p>●買い物調べの資料から正しく地図を読み取れていない。</p> <p>●資料からスーパーマーケットの特色や工夫を読みとれていない。</p>	<p>・毎時間、資料の読み取りをさせ、気づきや分かったことを挙げさせる。</p> <p>・文章や資料に出てくる重要な語彙の意味について教える。</p> <p>・資料を見る前にタイトル、見出し、図の種類を確認させて、全体の見通しを立てさせる。</p>
	知・技	76.2	74.1	68.4		
	思・判・表	67.7	62.2	57.8		
	態度					

第4学年		自校	市	全国	<p>○47 都道府県の名称と位置についてよく理解している。</p> <p>○資料をもとに交通の様子について理解し、表現している。</p> <p>○ゴミの分別と処理施設についてよく理解している。</p> <p>○リサイクルについてよく理解し、廃棄物を減らす取り組みについても資料をもとに判断できている。</p> <p>○災害に備えた取り組みについて考えることができている。</p> <p>●ゴミ処理施設の仕組みについて理解できていない。</p> <p>●文化財に関する地図や文化財の保存や継承のための取り組みについて資料を正しく読み取れていない。</p>	<p>・ゴミの処理の流れを絵や図で表現させる。</p> <p>・文化財やその特徴を絵やキーワードでまとめさせ、視覚的に整理させる。</p> <p>・文化財の保存や継承についての資料は、理由や背景・働きも読み取らせる。</p>
	知・技	79.6	66.2	69.6		
	思・判・表	72.7	63.4	61.6		
	態度					
第5学年		自校	市	全国	<p>○日本の領土やそれをめぐる問題についてよく理解している。</p> <p>○気候条件をもとに地域の観光について正しく判断している。</p> <p>○耕地整理について理解している。</p> <p>○資料をもとに栽培漁業の増加について正しく読み取れている。</p> <p>●米の生産が気候と関わりがあることをグラフから正しく読み取れていない。</p> <p>●米作りの作業についてあまり理解していない。</p> <p>●日本の工業製品の輸送の特徴について資料をもとに正しく判断していない。</p>	<p>・米の生産量が多い地域の特色を理解した上でグラフを読み取らせる。</p> <p>・米作りの工程を絵や図でカードにして、流れを整理させる。</p> <p>・ただ教えるだけでなく、「この作業は何をしている?」「なんのため?」という問いを一緒に考える。</p> <p>・問いを持たせて資料を読み取らせる。抽象的な資料だけでなく、生活と結び付けて考えさせる。</p>
	知・技	78.3	64.3	65.2		
	思・判・表	81.2	69.9	68.0		
	態度					

第6学年		自校	市	全国	<p>○弥生時代の生活の様子について資料を正しく読み取り、表現している。</p> <p>○飛鳥時代から奈良時代の中心人物や寺についてよく理解している。</p> <p>○聖徳太子の業績についてよく理解している。</p> <p>○室町文化についてよく理解している。</p> <p>○浮世絵が流行した背景について資料をもとによく考えている。</p> <p>●三権分立について理解していない。</p> <p>●鎖国下で交易が許された国について正しく理解していない。</p> <p>●明治維新前後の政治の流れについて正しく理解していない。</p>	<p>・三権分立の「それぞれの役割」を身近な例に置き換える。動画などの視聴教材を併用し、理解を深める。</p> <p>・鎖国について意味理解をさせ、貿易が許された国についてまとめさせる。また、理解したことを図やイラストを使って視覚化させる。</p> <p>・歴史の流れを掴むために大きな区切りで整理させる。また、流れを地図や年表で視覚化させる。</p>
	知・技	76.2	67.8	64.5		
	思・判・表	84.8	75.8	76.4		
	態度					
全体					<p>○全体的に目標値を達成している。</p> <p>●資料の読み取りが不十分である。</p> <p>●社会用語を正しく理解しておらず、間違った解釈をしている。</p>	<p>・毎時間資料の読み取りをさせる。</p> <p>・社会用語を計画的に反復練習させる。</p>

(3) 算数

学年	結果				【教科指導・学習に対する意識について】 教科学習及び教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題 ○これまでの取組の成果 ●課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
第3学年		自校	市	全国	<p>○四則計算、特にわり算の定着が図られている。</p> <p>●コンパスを使った長さのはかり方の定着にやや課題がある。</p>	<p>・コンパスを使った作図や長さを図る活動を十分に行う。</p>
	知・技	87.4	82.6	78.8		
	思・判・表	63.1	59.5	52.3		
	態度					
第4学年		自校	市	全国	<p>○小数の学習の定着が見られる。</p> <p>●重さの単位換算に課題がある。</p>	<p>・長さ、面積、体積、重さ等、日常生活の場面とつなげて学習をすすめ、生活の中でも意識できるようにする。</p>
	知・技	91.3	82.1	70.2		
	思・判・表	82.2	69.3	55.7		
	態度					
第5学年		自校	市	全国	<p>○数と計算の問題がよくできている。</p> <p>○図形の合同の学習が定着している。</p> <p>●単位量あたりの大きさの学習内容の定着に課題がある。</p>	<p>・基準量となるものが何なのかを明確にし、数量の関係を図や式で表して考えさせる。</p> <p>・線分図などの図をかいて考えさせる。</p>
	知・技	83.8	74.5	64.4		
	思・判・表	70.7	63.8	53.6		
	態度					

第6学年		自校	市	全国	<p>○基本的な四則計算の力が身に付いている。</p> <p>○図形、特に対称のかたちの学習の理解ができている。</p> <p>●比較量、基準量の理解に課題がある。</p>	<p>・基準量となるものが何なのかを明確にし、数量の関係を図や式で表して考えさせる。</p> <p>・小数や分数であっても考え方が同じであることに気が付けるよう、既習内容とつなげながら学習をすすめる。</p>
	知・技	90.8	83.3	77.4		
	思・判・表	78.8	64.0	58.8		
	態度					
全体					<p>○全体的に目標値を上回っている。</p> <p>○四則計算の力が定着している。</p> <p>●「変化と関係」の領域で正答率が低い。</p>	<p>・各学年での「変化と関係」の領域の学習の内容定着の確認をし、復習をする。</p> <p>・系統的な指導を継続する。</p>

(4) 理科

学年	結果				【教科指導・学習に対する意識について】 教科学習及び教科学習に対する意識調査から見られる児童の姿及び課題 ○これまでの取組の成果 ●課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
第3学年		自校	市	全国	<p>○「こん虫のからだのつくり」については理解できている。</p> <p>●「植物の育ち方」の理解が不十分である。</p> <p>●既習の知識を使って解く「思考力」や「応用力」が問われる問題に課題がある。</p>	<p>・基本的な理科の用語を授業中におさえる。</p> <p>・定着率が低い問題に関しては、同じ内容の問題に繰り返し取り組むことで定着させる。</p> <p>・既習事項を使って解くような問題にも取り組ませる。</p>
	知・技	72.1	69.5	65.6		
	思・判・表	63.2	60.6	61.1		
	態度					
第4学年		自校	市	全国	<p>○ほとんどの単元で目標値を上回っていた。</p> <p>●「動物のからだのつくりと運動」のほねのはたらきについての理解に課題がある。</p> <p>●問われていることに対して、文章で説明できた児童は約半数だった。</p>	<p>・基本的な理科の用語を授業中におさえ、その言葉を正しく使いながら説明する機会を増やす。また、児童同士で確認し合うようにする。</p>
	知・技	87.8	78.3	74.8		
	思・判・表	77.6	67.8	62.7		
	態度					
第5学年		自校	市	全国	<p>○無回答をしない声掛けを日々行い、習慣化したことで、問われていることに対して、文章で説明しようとしている。</p> <p>●既習の知識を使って解く「思考力」や「応用力」が問われる問題にやや課題がある。</p>	<p>・普段から記述形式の問題にも多く取り組み、記述への抵抗感を減らす。</p> <p>・同じ内容の問題でも、いろいろな出題形式(選択問題や記述問題)を解き、慣れさせる。</p>
	知・技	89.3	78.2	71.0		
	思・判・表	79.1	67.0	56.7		
	態度					
第6学年		自校	市	全国	<p>○「物の燃え方」がよく理解できている。</p> <p>●「生物と環境」の理解が不十分である。</p> <p>●資料が示している内容を正確に読み取ることに課題がある。</p>	<p>・同じ内容の問題でも、いろいろな出題形式(選択問題や記述問題)を解き、慣れさせる。</p> <p>・授業内で顕微鏡の使い方の手順を細かく確認する。また、実験器具の取り扱い方について丁寧に確認してから実験に取り組むようにする。</p>
	知・技	83.5	76.3	70.1		
	思・判・表	78.9	61.5	55.5		
	態度					

<p>全 体</p>		<p>○どの学年も全国平均と市平均ともに上回っている</p> <p>○実際に実験をした内容についてよく理解できている。</p> <p>○無回答が少ない。</p> <p>●応用問題・記述問題を苦手としている児童がいる。</p> <p>●初めて見る資料が表している内容を理解できていない児童がいる。</p>	<p>・同じ内容の問題でも、いろいろな出題形式(選択問題や記述問題)を解き、慣れさせる。</p> <p>・基本的な理科の用語を授業中におさえ、その言葉を正しく使いながら説明する機会を増やす。また、児童同士でも確認し合うようにする。</p>
----------------	--	---	---

3 令和8年度全国学力・学習状況調査に向けた取組

<ul style="list-style-type: none"> ・普段から既習事項を生かして学習を進めることを意識させる。 ・資料、表やグラフ、図や絵、写真、地図などの読み取りを行い、わかったことを自分でまとめる活動を仕組む。 ・無回答をなくすため、自分の考えを書くことを習慣化したり、記述問題に慣れさせたりする。
